

銚子地方気象台長からのメッセージ

ごあいさつ

銚子地方気象台のホームページをご覧ください、
ありがとうございます。

銚子地方気象台長の森実 英夫(もりさね ひでお)です。



千葉県は東西 100km、南北 134km で太平洋、東京湾、江戸川、利根川と四方を海と川に囲まれています。房総半島の東方沿岸に黒潮が流れているため、気候は温暖な海洋性気候となっています。

平成 29 年の気象を振り返ってみますと、もうだいぶ前のように感じますが、10 月末には台風第 21 号、第 22 号が週末たてつづけに千葉県に接近し、南部を中心に被害が発生しました。9 月は第 18 号が日本列島を縦断し、千葉県でも被害が発生しています。7 月は、島根県・福岡県・大分県に大雨の特別警報が発表されました。特別警報が発表される時は、これまでにない危険が迫っているときで、尋常ではない大雨や大津波等が予想され、重大な災害が起こる可能性が非常に高まっているときです。最近の関東の状況を見ても、平成 27 年 9 月 10 日には、茨城県で大雨により鬼怒川が決壊し、大きな浸水被害が発生するということがおきています。このときも茨城県、栃木県に大雨特別警報が発表されています。

このように、地震や大雨による大規模被害は、毎年、日本のどこかで発生している状況です。千葉県内でもいつ、大雨が降ってもおかしくない、大きな地震がおきてもおかしくないのが現状です。気象台としては、適切に気象情報を発表するのはもちろんのこと、県・市町村のみなさんと連携を深めながら少しでも、災害による被害を防ぎ、減らしていきたいと考えております。

普段から災害への心構えを持ち、防災に携わる方々と一緒に連携させていただき、県民の皆様の信頼が得られるよう、一層努力してまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

平成 30 年 5 月 銚子地方気象台長 森実 英夫